

# 公益財団法人南丹市情報センター

## ピコドラムの導入で 視聴ニーズに応える放送環境を整備



事業課長補佐兼  
施設管理係長  
曾川 秀人氏



事業課番組制作室長補佐兼  
制作係長  
塩貝 大輔氏



園部城を再現した南丹市国際交流会館内にある  
南丹市情報センター

南丹市情報センターのスタジオ

(公財)南丹市情報センター殿は、京都府南丹市全域に敷設された光ファイバ通信網を活用した、有線テレビ放送と高速インターネットサービスの提供を通じ、地域活性化を支援している。地域に密着した定期的な生中継放送に当たり、当社可搬型光ケーブル・ピコドラムを活用している同センターを訪ね、お話をうかがった。

### — 当社ピコドラムの導入経緯をお聞かせください。

「有線テレビ放送と高速インターネットサービスの提供及び自主放送番組を制作しており、臨場感あふれる番組づくりを目指して生中継番組に取り組んでおります。

南丹市全域に敷設した光ファイバ通信網を活用して中継現場から放送センターへ映像や音声を送っておりますが、光ケーブル内の光ファイバは細く断線リスクがあるため放送事故につながりかねません。また、同軸ケーブルのように断線箇所をより合わせて接続できないため、すぐに復旧ができないという課題を抱えていました。

断線しない丈夫なケーブルはないのかと、ケーブルの施工会社や問屋に問い合わせても、そのようなケーブルは見たことがないと言われました。そんなとき、偶然御社の方が飛び込みで営業にいらっしゃいました。話

を聞くと、まさに探していた理想のケーブルだったので導入を決めました」

### — 導入効果はいかがですか。

「毎年8月、お盆時期に開催されている京都南丹市花火大会の生中継で大いに役立っています。現場では中継地点のカメラから放送センターへ映像や音声を送る中継車までケーブルを敷設します。車両の往来や人混みの中でケーブルを地面に這わせるため、これまで絶えず断線のリスクと背中合わせで放送していました。

しかし、導入後は断線の心配がなくなり、中継に集中ができ、番組内容の質の向上に貢献しています。さらに省力化や効率化を図ることもできました。導入前は前日から中継用にケーブルを保護するプロテクターをつくり、2人がかりで半日かけて敷設していました。しかし導入後は、ケーブルを車両通行箇所のみプロテクターで保護するだけで良くなったため、事前準備が大幅に減りました。

またケーブルにねじれ癖がつかないので、新人スタッフ1人でも素早く敷設・撤収ができます。当センターは少ない人数で行っており、一人でも何役もこなさない番組制作を継続できないため大変助かっています。

ピコドラムの導入によって安心して生中継

を放送できる環境が整いました。現在、花火大会と成人式、市議会、少年サッカー大会の生中継を行っていますが、今後視聴ニーズに応じて中継放送を増やしていきたいと考えています」

### — ピコドラムの可能性についてお聞かせください。

「以前提案させていただいた、災害時の応急復旧用としての24心のピコドラムを近々製品化予定とのこととても期待しています。光幹線ケーブル(光ファイバ数百心)の断線時には早期復旧が求められます。しかし、現状では通常の光ケーブルしかなく、ケーブル自体も重くドラムも大きいため、トラックが必要となり、人と時間がかかるのが悩みでした。そこで中継で使用しているピコドラムでつくることができれば1人で簡単に扱える応急復旧用の専用ケーブルになるの思いで提案させていただいていました。

いつどこで災害が起こっても、ピコドラムでなら1人で車に乗せてすぐ現場に駆けつけ、重要な24回線を早期に応急復旧させることができると思います。これからも御社のさらなる技術革新に期待しています」

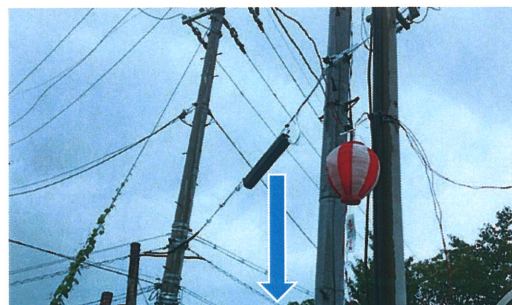
### ご採用いただいている主な製品 ピコドラム

#### 会社概要

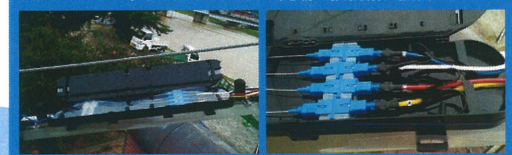
設立	1992(平成4)年
代表者	理事長 松村 賢治
基本財産	5,000万円
従業員	23人
本社	〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町 62-1 電話 0771-63-1777

#### 主要事業内容

- 有線テレビ放送施設及び情報伝達施設を通じた地域活性化番組の制作及び放送事業
- ネットワーク施設の広域的な利活用に向けた推進事業



ピコドラムのケーブルの先端を接続箱に接続



花火大会中継車に取り付けられた  
ピコドラム

花火大会中継  
準備作業風景